

第6回外濠市民塾 「地形から見る四谷の今昔」 Part II

実施レポート

日時：10月10日（土）13:00～
場所：土木学会

- 【1】実施概要
- 【2】セミナー
- 【3】ウォーキングラリー
- 【4】交流会
- 【5】参加者の声



ウォーキングラリーのチェックポイント 荒木公園

実施要項

日時：10月10日（土）13:00～17:00

場所：土木学会（四谷 外濠公園内）

プログラム： 開場：12:30 開始：13:00

1) セミナー 講師：皆川 典久 氏（東京スリバチ学会会長）

凹凸地形から都市を読み解く～四谷・荒木町編

2) ウォーキングラリー

8グループに分かれ、地形図だけを頼りに三栄町や荒木町周辺の坂や横町、寺社を中心に探索しました。四谷の地形、歴史やまちの人達の息づかいを感じながらまち歩きを楽しみました。

3) まとめ

市街地の白地図上に、歩いてきたルートや参加者の気づきなどを付箋でプロット、情報共有しました。

4) 交流会（希望者） 17:30～19:00

土木学会 AB会議室

主催：外濠市民塾実行委員会

共催：新宿区立四谷図書館（指定管理者 紀伊國屋書店・ヴィアックス共同事業体）

公益社団法人土木学会 景観・デザイン委員会

参加状況

■ セミナー・ウォーキングラリー・まとめ

参加者：121名

（一般参加：90名、学生及びスタッフ：30名、講師：1名）

■ 交流会

参加者：56名（内学生17）

スタッフ・協力

■ 外濠市民塾実行委員会

委員長	陣内秀信	（法政大学）
	福井恒明	（法政大学）
	小松妙子	（法政大学）
	高道昌志	（法政大学）
	林千絢	（法政大学）
	渡邊翔太	（法政大学）
	亀田和宏	（DNP）
	廣田幸司	（DNP）
	滝川芳男	（DNP）
	渡辺安広	（DNP）
	遠藤ひとみ	（四谷図書館）
	中津留彩音子	（四谷図書館）

■ 協力

法政大学大学院デザイン工学研究科（建築学専攻・都市環境デザイン工学専攻学生の皆さん）

法政大学 エコ地域デザイン研究所

東京理科大学 神楽坂地域デザインラボ（宇野求教授、学生の皆さん）

中央大学 理工学部都市環境学科 水理研究室（山田正教授、学生の皆さん）

日本大学 理工学部まちづくり工学科（阿部貴弘准教授、学生の皆さん）

新宿区立新宿歴史博物館

DNPソーシャルイノベーション研究所

【2】セミナー『凹凸地形から都市を読み解く～四谷・荒木町編』

実施要項

開催時間：13:00～13:10 開会の辞、趣旨説明 福井恒明（法政大学教授）
ご挨拶 守谷賢一氏（新宿区立新宿歴史博物館 副館長）
13:10～14:00 講演 皆川典久氏（東京スリバチ学会会長）
司会：福井恒明（法政大学教授）
場所：土木学会 講堂

セミナーの様子



講演 皆川典久氏（東京スリバチ学会会長）



講演中の様子（日比谷から吉原にかけての海岸線）



セミナー会場の様子



会場の土木学会前で参加者の記念撮影

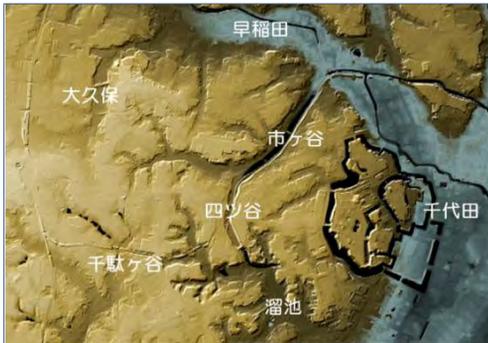
セミナー要旨

「地形から見る四谷の今昔」 Part II
凹凸地形から都市を読み解く～四谷・荒木町編



2015.10.10

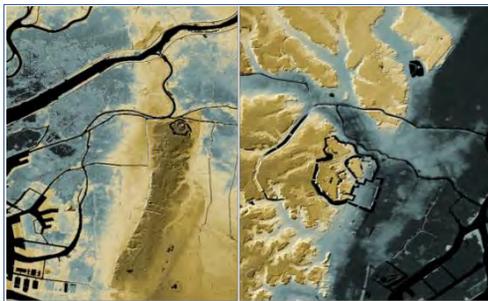
東京スリバチ学会



凸凹地形から、都市を探ってみよう。



地図に地形を重ねてみると。。

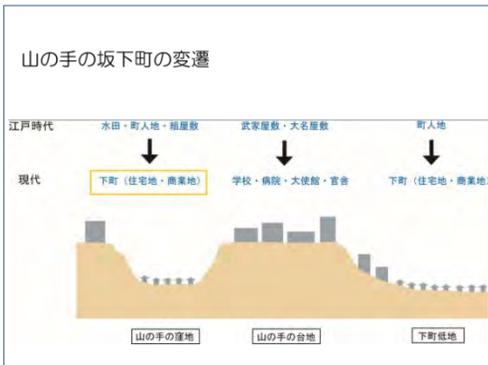


微地形に着目すると
その町特有の歴史や文化が見えてくるかも。

スリバチ地形が見られる3つの要因

1. 関東ローム層の堆積
2. 降雨量の多さ
3. 都市化の時期

有栖川宮記念公園



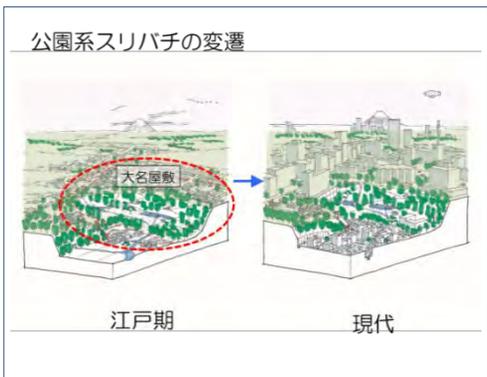


新宿御苑



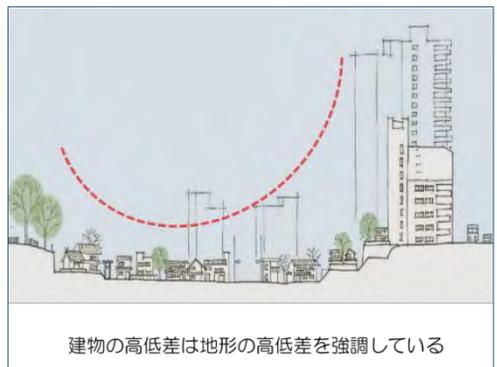
スリパチ庭園は世界遺産！？

清水谷公園



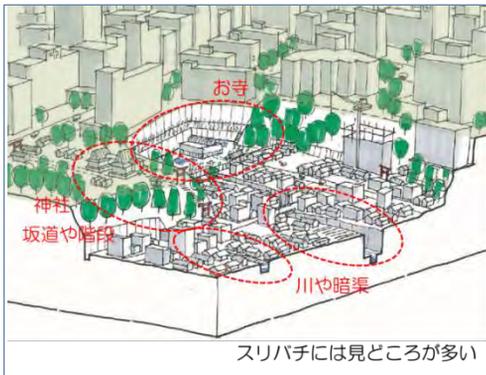
江戸期

現代



建物の高低差は地形の高低差を強調している

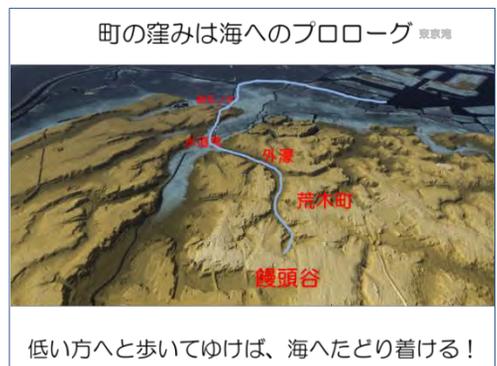
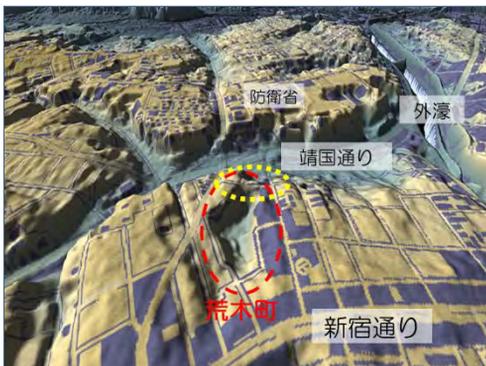
■「建物は地形の隆起を増幅するように立つ。」スリパチの法則は荒木町でもあてはまりそうです。



スリパチには見どころが多い



荒木町のスリパチ俯瞰



町の窪みは海へのプロローグ 東京都

低い方へと歩いてゆけば、海へたどり着ける！

■ さあ皆さん、これから冒険気分で実際にまちを歩いてみましょう！

実施要項

開催時間：14:10～14:20 ウォーキングラリー説明、グループ分け、順次ウォーキングラリーに出立
 14:20～16:10 グループ単位でコースを決めてウォーキングラリー
 16:10～17:00 ウォーキングラリーまとめ

場 所：新宿区三栄町、荒木町地区周辺

実施内容：8グループに分かれ、地形図だけを頼りに2か所のチェックポイントを必ず通過するというルールで実施。
 歩くコースをグループごとに話し合いながら、多様なまち歩きが行われました。

- ・チェックポイント（2か所）：新宿区立歴史博物館、荒木公園
- ・見どころ：通称「策(むち)の池」「荒木町モンマルトル」「荒木町飲食店街」など

まとめ

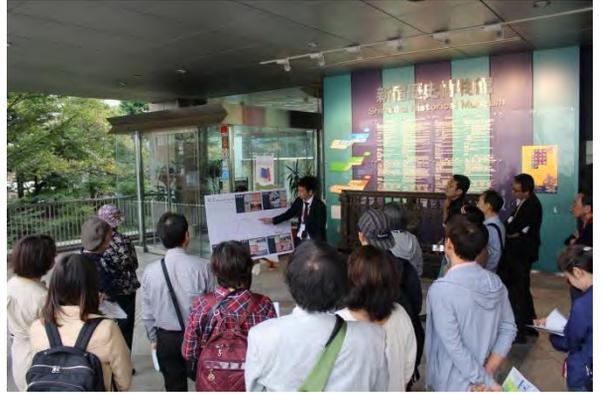
- ・市街地の白地図上に、歩いてきたルートや参加者の気づきなどをプロット、情報共有しました。

ウォーキングラリー・スタッフ

役割	スタッフ	
チェックポイント 説明員	新宿区立 新宿歴史博物館	法政大学建築学専攻D3 高道 昌志 法政大学建築学専攻M2 橋爪 満帆
	荒木公園	とんかつ鈴木 鈴木 洋一
ウォーキング ラリー引率	東京理科大学	建築学専攻M1 有賀 彩花 建築学専攻M1 上原 龍太郎
	中央大学	都市環境学専攻M2 柿沼太貴 都市環境学専攻M2 尹中夫 都市環境学専攻B4 郷津勝之
	日本大学	理工学部まちづくり工学科B3 藤村祐貴 理工学部まちづくり工学科B3 猿澤優太 理工学部まちづくり工学科B3 宮澤祐子
	法政大学	工コ地域デザイン研究所兼任研究員 小松 妙子 都市環境デザイン工学専攻M1 潮優香子 都市環境デザイン工学専攻M1 北村亮輔 都市環境デザイン工学専攻M1 芳賀徹也 都市環境デザイン工学専攻M1 渡邊翔太 建築学専攻M1 林 千絢 デザイン工学部都市環境デザイン工学科B4 雷 暁宇 デザイン工学部都市環境デザイン工学科B4 蝦名 遼祐 デザイン工学部都市環境デザイン工学科B4 大迫 和己 デザイン工学部都市環境デザイン工学科B4 清水 証孝 デザイン工学部都市環境デザイン工学科B4 関口 智明 デザイン工学部都市環境デザイン工学科B4 志村 有美 デザイン工学部都市環境デザイン工学科B5 嶋田 拓水
	新宿区立 四谷図書館	館長 大畑 公平 職員 遠藤 ひとみ 職員 中津留 彩音子
	DNP	亀田 和宏 廣田 幸司

ウォーキングラリーのようす

■チェックポイント 新宿区立新宿歴史博物館：外濠をテーマとする研究に取り組んでいる法政大学高道と橋爪が説明員となり、太古から連綿と人々の営みが続いていた新宿区内の歴史の中で明治生まれのまちにスポットをあて解説しました。



■チェックポイント 荒木公園：とんかつ鈴新のご主人 鈴木洋一氏が解説。江戸時代この地一帯は松平摂津守の上屋敷で、その中庭には当時玉川上水の水を引いていた「策（むち）の滝」や、防御の目的もあった「むちの池」がありました。現在は住居地域になってスリバチ状の地形を残し、飲食店街には400店舗もの美味しい店が軒を連ねています。



■荒木町の深いスリバチ状の窪地
通称「策（むち）の池」にて



■スリバチの底から東側の斜面を望む
通称「モンマルトルの坂」



ウォーキングラリーに使用した地形図

関所通過チェックシート
 ※関所でスタンプをもらってください。



◇四谷荒木町界隈を地形を頼りに散策
 してみましょう。
 ◇ルートは基本的に自由ですが、
 ★は、解説係が常駐した関所です。
 関所は時間内に通過してください。

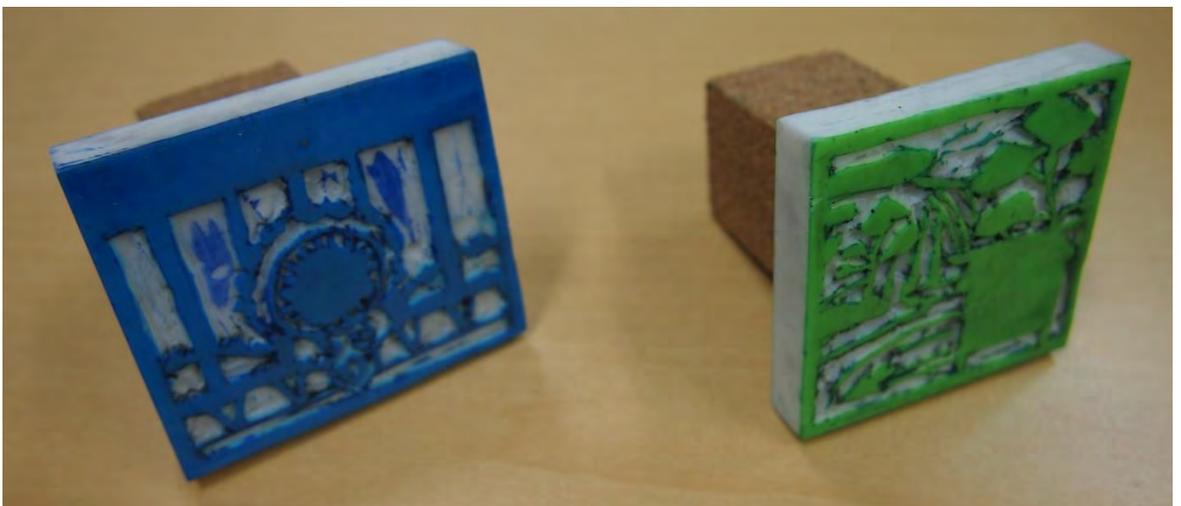
● : 土木学会

★ : 荒木公園

★ : 新宿歴史博物館



四谷荒木町界隈地形図



ウォーキングラリー チェックポイントで使った 消しゴムスタンプ

(法政大学 小松 妙子 作)

ウォーキングラリーまとめ

ウォーキングラリーで持ち帰った情報をもとに、白地図上に付箋で気づきをプロットしました。各グループ特色ある気づきの発表がありました。普段気にしないで歩いている地形を意識して歩くと、いろんな発見があったという感想がたくさんあげられました。



実施要項

開催時間：17:30～19:00
場 所：土木学会 AB会議室
参加人数：56名

交流会の様子

今回は東京スリバチ学会会長の皆川典久氏にもご参加いただき、講義とウォーキングラリーの余韻もそのまま会は大いに賑わいました。また、会運営に参加した法政大学、東京理科大学、中央大学、日本大学の4大学の学生たちも積極的に交流をはかっていました。



参加された方のご意見をアンケートから拾いました。（回収：81部）

■セミナー・まち歩きを行う前のイメージと、第6回プログラム終了後の考えについて

【地形・歴史に関するイメージ】

- ・外濠に向かって両側から下り坂で構成されているまちで、風情のないまちなみのイメージ。
→スリバチ地形による坂の多さを、段差で非常に混み入った密集した街並みに、生活感と風情を感じた。
- ・東京有数のスリバチ地形を有す。
→座学+フィールドワークのスタイルが素晴らしい。多岐に亘るご専門家等団に混ぜていただいたウォーキングが素晴らしかった！ありがとうございました。（8班）
- ・昔の道が残っていて、昭和の雰囲気が残っている路地が多い。
→自分の地元でしたが、地元の方の話を伺ったりして、再発見することができました。とても良い企画の会でありありがとうございました。
- ・荒木町界わいの混とんとした好きだった。
→地形が街の成り立ちにここまで大きく関わっていたとは！！

【特別なイメージはもっていなかった】

- ・歴史を感じつつも、体系だって考えることはなかった。
→理系のなりたち、歴史的な人の営みを考えながら街歩きをすることを覚えました。
- ・もともとはイメージありませんでした・・・
→高低差、小さな坂道、階段・・・地形の面白さに初めて気づきました！
- ・四ツ谷駅近くに、このように変化のある場所があるとは思っていなかった。
→都心にまだ歴史が感じられる場所がたくさんあることがわかった。

【その他感想など】

- ・皆川先生のレクチャーがあって良かった。理解度が深まった。まち歩きは前半に時間がかかりすぎた。もう少し荒木町を見て歩きたかった。
- ・セミナーは良かったがまち歩きは無駄だった。最初にグループ分けして歩くと聞き不安だったがその通りだった。知識がない人間でグループで歩かされたので、リーダーを作り、少しでも解説してもらえたらと思った。

原因：このご指摘は、解説者不在のグループがあったことに起因するご不満といえます。
今回は「1回目」の方が51名と初めての方が多くなっており、引率スタッフによる解説への期待が高まっていたと思われます。

対策：今後、この様な体験にならないように以下のとおり対応してまいります。

- ・引率スタッフに対し、事前学習が適切に実施できるように段取りを踏まえること。
- ・参加者全員に対し、様々な主体と参加者が集い共に学ぶ場であることを予め周知すること。

■今後実行してほしい企画

- ・水についての考察 1
- ・玉川上水 1
- ・ジグ谷の方をあるきたい 2
- ・外濠そのものについてよく深く知りたい 1
- ・神楽坂の“まち飛びフェスタ”を利用して、市民塾の活動を発信する 1
- ・各江戸・明治・大正・昭和の地図を比較して見てみたい
- ・下水道網の地図を手に入れたい 1
- ・地図やまちあるき日記などを作ってみたい 1
- ・他の区（渋谷、文京等）にも行きたい 1

■あなたと外濠について教えて下さい（複数回答可）

- ・近くに住んでいる 26
- ・近くに住んでいたことがある 5
- ・近くに通勤・通学している 23
- ・近くに通勤・通学していたことがある 11
- ・近くで事業を営んでいる 0
- ・飲食・買い物・遊びなどで付近に来ることがある 15
- ・今まであまり関わりがなかった 10
- ・無回答 6

■外濠市民塾への参加は何回目ですか

- ・1回目 51
- ・2回目 14
- ・3回目以上 10
- ・無回答 6

■次回以降の外濠市民塾に参加してみたいと思いますか？

- ・外濠に関心がある 17(27)
- ・四谷に関心がある 18(23)
- ・セミナー内容・講師に興味を持った 30(37)
- ・まちあるきに興味を持った 2(5)
- ・他の参加者との意見交換に興味を持った 2(5)
- ・その他、無回答 3(3)